

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院・昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

地域大学病院における学校三次検尿の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2010年1月から2023年9月30日までに、学校検尿の三次健診を主訴として昭和大学藤が丘病院小児科・昭和大学横浜市北部病院こどもセンターを受診した、受診時6歳0カ月以上16歳0カ月未満の患者さん

2. 研究目的・方法

昭和大学横浜市北部病院および昭和大学藤が丘病院はともに学校検尿の三次健診指定医療機関(時期により変遷があるが市内全体で15-20施設)に入っており、比較的小児人口の多い横浜市内にあるため多数の患者が集まり、かつ小児科医でサブスペシャリティとして腎臓学会認定専門医を保有している医師を複数有することから腎生検などの精密検査まで一貫して行い評価や治療を行うことができおります。そのため、上記二つの大学病院で三次健診を受診することになった患者さんについて評価することで、学校検尿で異常を指摘される患者さんの最終的な診断や経過を予測・評価する指標の一つにできると考えます。

方法としては上記期間で、学校三次検尿のためこの2つの病院を受診された患者さん方を対象とします。診療録を参照し、性別や年齢、既往歴、身長や体重、初診時の検査結果(血液検査、尿検査)、初診時の診断、最終的な診断、治療介入が必要だった場合の治療内容や治療結果、などの情報を収集します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年12月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、受診時の年齢、在胎週数・出生体重、既往歴、家族歴、一次健診・二次健診で指摘された異常の項目、身長・体重・血圧、尿検査所見(潜血反応、蛋白定性、糖定性、白血球定性、蛋白定量、クレアチニン、赤血球沈査、白血球沈査、尿中2-ミクログロブリン、尿中NAGなど)、血液検査(アルブミン、クレアチニン、尿素窒素、尿酸、IgA、ASO、C3など)、健診受診時の診断、治療介入の有無・介入内容、最終診断、といった情報を収集して評価します。患者さんに追加の検査などは行いません。

5 . 外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は個人情報管理責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、昭和大学藤が丘病院小児科から昭和大学横浜市北部病院こどもセンターへ研究者のみがアクセスできるオンラインストレージを通じて送付されます。

6 . 研究組織

研究責任者	昭和大学横浜市北部病院	大貫裕太
研究分担者	昭和大学横浜市北部病院	池田裕一
	昭和大学藤が丘病院	布山正貴
	昭和大学横浜市北部病院	渡邊常樹
	昭和大学横浜市北部病院	渡邊佳孝
	昭和大学横浜市北部病院	小宅千聖
	昭和大学横浜市北部病院	小野貴広
個人情報管理責任者	昭和大学横浜市北部病院	村瀬正彦

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院こどもセンター 氏名：大貫裕太

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7000